

東京大学-アジア女性大学合同ウィンタープログラム(於 アジア女性大学)
“Education and Global Citizenship”
(教育とグローバル・シティズンシップ)

募集要項

2026.10

【留意事項】

- (1) 募集に関する情報・応募書類等は一部変更される場合があり、また、有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合がある。最新情報を必ず Go Global ウェブサイトで確認すること。
https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short_auw-winter.html
- (2) 本プログラムは、一般財団法人ファーストリテイリング財団の支援のもと実施される。

1. 概要

本プログラムは 2026 年 7 月～8 月に実施した「東京大学-アジア女性大学合同サマープログラム(於 東京大学)」に連続するものとして、2027 年 2 月～3 月にアジア女性大学(AUW)(※1)で両大学の学生が共に学ぶ機会を提供するものである。サマープログラムに続き、本プログラムでは、変動する世界における教育の役割や、多様性・包摂性のある社会構築に向けた教育のありかたについて考える(※2)。

AUW からの参加者には、移民・難民として生きてきた、また戦争、貧困、差別により教育を妨げられてきた学生が多く、東京大学の一般学生とは属性や背景、そして大学教育への目標意識が大きく異なる。バングラデシュでそのような学生たちと時間をともにしながら、教育によって培われるべきグローバル・シティズンシップの意味や課題について学び、議論する。

プログラムにおいては、AUW の教員を中心とした専門家による講義および学生同士のディスカッションを通して、プログラムテーマをめぐる様相を多角的に考える。加えて、フィールドトリップや AUW の学生との交流など、教室外での学習の機会も多く用意される。サマープログラム同様にアクティブ・ラーニングを中心としたプログラムとなり、異なる環境にある学生たちが活発に意見を交わし、それぞれの将来のキャリアに繋がる新たな知見を体得する機会とする。

※1 アジア女性大学(AUW):バングラデシュのチッタゴンにあり、女性の教育とリーダーシップの涵養を目的として 2008 年に開学した。バングラデシュだけでなく、アフガニスタン、ミャンマー、インド、ネパール、ブータン、シリアなど南アジアを中心に、貧困や戦争、政情不安、民族差別や性差別を理由に高等教育へのアクセスのない、主に「ファーストジェネレーション」(家族の中で初めて大学に行く世代)の優秀な女性に奨学金を提供し、リベラルアーツ教育を実施している。 ウェブサイト: <https://asian-university.org/>

※2 本プログラムは、2026 年 7 月～8 月に実施のサマープログラムに連続するものとして実施するが、応募に際し、サマープログラムへの参加有無は問わない。

2. 実施期間

2027 年 2 月 19 日(金)～3 月 6 日(土)(日本出発日・到着日を含む)

3. 募集対象者・人数

学部学生 15 名

※[国際総合力認定制度 Go Global Gateway \(GGG\)](#)のオンデマンド基礎講座の受講(動画の視聴と確認テストへの回答)を完了していることが必須。

※その他応募にかかる詳細は「9. 応募資格・要件」を参照すること。

4. 募集からプログラム終了後までのスケジュール(日本時間)

11月16日(月) 17時	本部国際教育推進課への問い合わせ締切
11月18日(水) 17時	応募締切 国際総合力認定制度オンデマンド基礎講座の受講締切
12月上旬	選考結果通知
2027年 1月18日(月) 17時～20時頃	事前オリエンテーション① ※対面(本郷キャンパス)
2月12日(金) 15時～18時45分頃	事前オリエンテーション② ※対面(本郷キャンパス、一部オンラインで AUW と接続予定)
2月19日(金)	羽田または成田発
2月20日(土)	チッタゴン着
2月21日(日)～3月4日(木)	プログラムの実施
3月5日(金)	チッタゴン発
3月6日(土)	羽田または成田着
プログラム終了後	事後課題提出 国際総合力認定制度の修了申請(該当する者のみ)

※本プログラムは、バングラデシュのアジア女性大学(チッタゴン)にて実施する。

※本プログラムには、全期間を通じ、東京大学グローバル教育センターの教員が引率する。

※往路・復路とも参加者全員が本学で一括購入する同一の航空便(羽田または成田発着)を利用し、空港で集合・解散する。また、プログラム期間中は全員が指定された宿泊施設に滞在する。途中参加や私事旅行等による別行動は一切認められない。

5. 費用

本プログラムは一般財団法人ファーストリテイリング財団により支援され、プログラム参加に係る費用のうち、航空券および宿泊料等の費用は大学が負担する予定。詳細は決定次第、通知する。

なお、本プログラムは、[東京大学グローバルリーダー育成プログラム-I \(GLP-I\) の Global Experiences 奨学金](#)の支給対象とならない。

6. 奨学金

プログラム参加者のうち、要件を満たす希望者に奨学金 9 万円(返済不要)を支給する。

要件(前年度の成績評価係数等)の詳細については、別添 1「奨学金の支給要領および受給資格・要件について」を参照すること。

奨学金を希望する者は、UTAS による申請とは別に、別添 1 に記載の奨学金受給希望調査に回答すること。応募締切までに回答がなかった者は奨学金を希望しないものと見なす。

7. プログラム期間中の宿泊地

プログラム実施期間中は、本学からの参加学生は全員が同じ宿泊施設(AUW の宿舎を予定)に滞在予定。なお、宿泊施設では相部屋となる見込み(寝室とバスルームは各自別、3人ひと組でリビング・ダイニングとキッチンをシェアする)。部屋割りに際し要配慮事項がある場合にはできる限り考慮するため、応募時に UTAS 申請書内の「20. ジェンダーおよび部屋割りについての特記事項」に明記すること。

8. 単位等

本プログラム参加による単位は付与されない。

9. 応募資格・要件

以下の要件をすべて満たすこと。

【資格・要件】

- (1) [国際総合力認定制度 \(Go Global Gateway, GGG\)](#) におけるオンデマンド基礎講座の受講(動画視聴と確認テストへの回答)を完了していること。受講の所要時間の目安は約 100 分。

✓オンデマンド基礎講座:<https://forms.office.com/r/hJkNXSbYL2> ※UTokyo Account でログイン

- (2) 中級程度以上の英語能力 ([Common European Framework of Reference for Languages \(CEFR\)](#) の B1～B2 レベル) を保持していること。語学能力証明書の提出は不要だが、上記 CEFR の基準を確認のうえ応募すること。
- (3) 応募時およびプログラム参加期間を通じて、本学の学部正規課程に在学していること。(プログラム期間中に休学中の者や卒業等により本学学籍を失う者は参加できない。)
- (4) 本プログラムに参加するにあたり、本学の授業履修に関して特別な配慮はないことを理解し、本学の授業・試験期間、その他各自の予定等を応募前に十分確認し、全日程参加が可能な場合のみ応募すること。なお、本学からの参加可能人数には上限があり、選考後に辞退すると他の学生の機会を失うことにつながるため、応募後に辞退することのないよう十分注意すること。
- (5) 本学の授業等に出席できない場合の扱いについては、プログラム参加時の所属学部の判断による。本プログラムへの参加に際し所属学部において特別な配慮が行われるとは限らないため、十分確認・納得したうえで応募すること。
※所属学部によっては、本プログラムへの参加により授業または試験に出席できない場合でも特別な配慮は取られず「欠席」扱いとなる場合や、欠席による追試験の申請理由にもならない場合がある。詳細は所属学部に確認すること。
- (6) 本プログラム参加時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに応募することを事前に報告し、了承を得た上で UTAS 申請書の所定の欄に了承を得た日付を入れること。該当する教員等がいない学生は、所定の欄に「指導教員なし」と入力すること(16. 応募方法・応募書類(2))。
- (7) 応募前に、プログラム参加時の所属学部担当部署にて、プログラム参加に関する留意点の説明を十分に受け、UTAS 申請書の所定欄に担当部署名・担当者名(イニシャルまたは氏名)・日時を記入し、納得した上で応募すること(16. 応募方法・応募書類(2))。記入されていない場合は申請を受理しない。業務の都合等により、急な対応は受け付けられない可能性があるため締切日までに余裕をもって説明を受けられるようにすること。なお、学部により、プログラム参加にあたって独自の条件を課す場合がある。
- (8) 事前オリエンテーション(2回、対面 於本郷キャンパス)に出席すること。日程等は「13. 事前オリエンテーション」を参照すること。詳細は選考後に通知する。なお、1回目、2回目ともに原則として参加必須だが、授業や試験等やむを得ない事情がある場合は本部国際教育推進課へ相談すること。
- (9) 海外大学での授業の受講、英語学習、異文化体験に興味を持っていること。
- (10) 本学が指示する安全管理に係る手続き・案内等を理解した上で活動に参加すること。
なお、厚生労働省検疫所 FORTH では、バングラデシュへの渡航にあたっては【A型肝炎、B型肝炎、破傷風、腸チフス、(狂犬病)、(日本脳炎)】のワクチン接種が推奨されている(2026年10月20日現在)。予防接種を受ける場合、ワクチンによっては間隔をあけて複数回の接種が必要となるものもあるので、計画的に接種すること(接種にかかる費用は自己負担となる)。

(参考) 厚生労働省検疫所 FORTH ウェブページ

<https://www.forth.go.jp/destinations/country/bangladesh.html>

【保険への加入】

プログラムへの参加が決定した場合、留学中の保険として、公益財団法人日本国際教育支援協会(JEES)の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」に必ず加入することを、応募にあたり同意すること(加入に要する経費(約6,000円)は自己負担となる)。加入にあたっての詳細は、選考終了後に参加予定学生に追って通知する。

【派遣留学生危機管理サービスへの加入】

プログラムへの参加が決定した場合、留学中の危機管理対策として、日本エマージェンシーアシスタンス(株)の[派遣学生危機管理サービス OSSMA \(Overseas Student Safety Management Assistance\)](#) に必ず加入することを応募にあたり同意すること(加入に要する経費(約3,630円)は自己負担となる)。加入にあたっての詳細は、選考終了後、派遣候補学生に追って通知する。

10. 応募締切

2026 年 11 月 18 日(水) 17 時(日本時間)

※本部国際教育推進課への問い合わせは 11 月 16 日(月) 17 時まで

11. 選考

- (1) 原則、選考は書類審査による。
- (2) 可否結果等についての連絡は電子メールで行うため、応募後は定期的に UTAS での電子申請時に記載された電子メールアドレスを確認すること。重要な連絡が迷惑メールフォルダに振り分けられてしまう例もあるため、注意すること。
- (3) 申請時に並行して他のプログラムへの参加を申請中、あるいは参加が決定している場合はその旨を、UTAS からの電子申請時に「10. 併願状況」欄に記載すること。
- (4) 選考結果は、12 月上旬に、電子メールで学生本人および所属学部の担当部署に通知する。

12. 選考通過～プログラム参加前の留意事項

【プログラム参加手続きおよび渡航手続き】

- (1) 参加手続き、渡航手続き、査証(ビザ)取得手続き等は、本部国際教育推進課の指示に従い、本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。書類不備や締切日の確認漏れ等の理由でプログラムに参加できなくなった場合は本人の責任となり、それにより生じた経済的損失は自己負担となる。
- (2) パスポートを所持していない場合や、有効期限が切れる場合は、選考通過後すみやかに取得・更新を行うこと。

【学内での手続き】

- (1) プログラムへの参加が決定した場合、所属学部の担当部署に確認し、海外渡航に必要な手続きを行うこと。(必要な手続きは、所属学部毎に異なる。)
- (2) プログラムへの参加が決定した場合、指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間派遣されることにより関係者の教育・研究活動に支障をきたさないよう努めること。
- (3) 参加学生への事前オリエンテーション(2 回、対面)に出席すること。
- (4) 応募締切後の辞退は他の学生の不利益となるため、応募後に辞退することのないよう十分注意すること。やむを得ない事情により参加を辞退しなければならない場合には、採否結果の受領前であっても遅滞なく、本部国際教育推進課(go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)に連絡すること。
- (5) 奨学金受給者が、前述の申請資格に反する事実が判明した場合、または受給者として適当でない事実があったときは、支給済の奨学金の全額または一部を返納させる。また、プログラム参加を中断・休止した場合、支給済の奨学金の全額または一部を返納させることがある。
- (6) 本学が指示する安全管理に係る手続き・案内等を理解した上で活動に参加すること。
- (7) そのほか、本学が指示する注意事項に従うこと。

【海外渡航のための情報、危機管理】

一般的な海外渡航のための情報や危機管理等については、Go Global ウェブサイトを参照すること(<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/voyage-index.html>)。

特に、危機管理ガイドブックは必ず熟読すること。

13. 事前オリエンテーション

参加が決定した学生は、事前オリエンテーション(2 回)に出席すること。各オリエンテーションの内容は以下を予定しているが、詳細は参加決定者に改めて通知する。オリエンテーションには、授業や試験等やむを得ない事情のない限り必ず出席すること。

- 1 回目:2027 年 1 月 18 日(月) 17:00~20:00 頃 (対面、本郷キャンパス)
 - ・プログラム概要・渡航に際する注意事項等の説明
 - ・バングラデシュに関する事前学習(レクチャー等)

2 回目:2027 年 2 月 12 日(金) 15:00~18:45 頃 (対面、本郷キャンパス)

- ・AUW に関するドキュメンタリーの視聴
- ・東大からの参加学生の交流会
- ・AUW からの参加学生との顔合わせ(会場をオンラインで繋ぐ予定)

14. プログラム参加の際の注意事項

- (1) プログラムの趣旨を理解の上、十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了することに努めること。
- (2) 参加学生は本学を代表する立場にあることを自覚し、滞在先の機関・国の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。
- (3) プログラム中に写真や動画を撮影する可能性があること、将来それらが本学、アジア女性大学、ファーストリテイリング財団の広報素材・教育素材として使用される可能性があることを予め了承すること。

15. 参加後の報告等

- (1) プログラム終了後、指定された期日までに事後課題および参加報告書(所定様式)を提出すること。内容、提出期日、提出方法等の詳細は追って参加者に連絡する。
- (2) プログラム終了後に国際総合力認定制度(Go Global Gateway, GGG)の修了認定を申請すること(既に認定済、または認定申請中の場合は、再度申請する必要はない)。なお、前期課程修了要件となっている外国語科目の単位を未取得の場合には、全単位取得後に認定申請を行うこと。
✓認定申請フォーム:<https://forms.office.com/r/bKvXBBemnD> ※UTokyo Account でログイン
- (3) 奨学金の受給者については、上記以外にも指定された報告書類等を提出すること。
- (4) 応募時の UTAS からの電子申請に記載の住所や電話番号・電子メールアドレスに変更があった場合は、本部国際教育推進課(go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)へ連絡すること。プログラム終了後も必要事項の連絡等に際し必要となるので、留意すること。
- (5) 参加学生には、プログラム参加後、報告会や説明会への参加のほか、本学の国際化に関する業務への協力(留学プログラムの広報や学生へのアドバイス、アンケート調査等)を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。

16. 応募方法・応募書類

- (1) 応募締切日時までに学務システム(UTAS)からの電子申請を完了させること。
 - ◇ 応募締切以降、電子申請システムは閉じられ、申請は一切受け付けない。また大きな不備(特に募集要項やUTAS電子申請画面に表示される青字の説明に沿っていない不備)のある申請は受理されない可能性があるため、余裕を持って応募書類を作成・確認し、応募すること。応募締切後も差し戻しの場合があるので、申請について差し戻しを受けた場合は、指定される期日までに再提出すること。(応募締切前後は特に、本部国際教育推進課から送信されるメールに留意すること。)
- (2) UTAS 電子申請画面に表示される指示・説明をよく確認し、その通りに入力すること(以下は特に注意が必要な項目)。
 - ◇ 「2. 基本情報」および「4. 家族等関係者の連絡先」は申請画面では記入・変更できない。そのため記入または変更が必要な場合は、応募時の所属学部を担当係に記入・修正方法を確認し、正しい内容を記入した状態で申請すること。
 - ◇ 「3. 申請者本人の連絡先」電子メールアドレスは、本プログラムに関するやり取りに使うため、添付ファイル等も受信できる利用し易いメールアドレスとすること。本プログラムに関する連絡に際して、当欄に記載されているもの以外のメールアドレスの使用を希望する場合には、「16. 連絡先メールアドレスについて」にそのアドレスを記載すること。
 - ◇ 「6. プログラム中の所属・学年」指導教員等氏名について、いない場合は「なし」と入力すること。いる場合は、「18. 指導教員への連絡」に了承を得た日付を入力すること。
 - ◇ 「13. 略歴・性格・特技等」については、特に海外滞在・留学・渡航歴等の海外経験がある場合には国名・時期・目的を記載すること。

- ◇「14. 本プログラム参加を希望する理由」には、志望理由を日本語の場合800字程度、英語の場合400 words程度で記述すること。また、記載した字数／word数を各自でカウントし、志望理由の末尾にカッコ書きで明示すること。
- ◇「16. 連絡先メールアドレスについて」「17. 募集要項と誓約書に記載の事項について」は、UTAS上に記載された指示に沿って確認・入力すること。
- ◇「19. プログラム中所属する学部からの留意事項確認」には、プログラム参加時の所属学部の担当部署から参加に関する留意点の説明を受けた上で、①担当部署名・②担当者名（イニシャルまたは氏名）・③説明を受けた日付・時刻を記入すること。記入されていない場合は申請を受け付けない（例：①教養学部△△チーム ②H・T ③11月11日14時30分）。

(3) 電子申請時に「21. 添付資料」でアップロードする書類については、下表を参照のこと。

応募書類	対象者	提出方法・備考
誓約書	<u>全員</u>	・指定書式（ダウンロード）に <u>記入・署名後</u> 、PDFで「21. 添付資料」へアップロードする。 電子署名も可とする。 ・保証人欄は家族等、学生本人が制約事項を遵守することを保証できる者の署名を記入すること。
パスポート顔写真ページの写し	<u>保持者のみ</u>	保持・更新していない場合は、 <u>選考通過後すみやかに取得・更新</u> すること。
高等学校の成績証明書	奨学金を希望し、かつ学部1年次1学期目で前学期の成績がない者のみ	高等学校の5段階評価の通知書・調査書等。奨学金の選考で使用する。

【電子申請応募先】

学務システム（UTAS）にログイン後、画面上部にある「海外派遣」のタブより申請すること（「海外派遣プログラム申請の手引き」を参照のこと）。

- ◇ 学務システム（UTAS）：<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>
- ◇ 海外派遣プログラム申請の手引き（PDF）：
https://univtokyo.sharepoint.com/:f:/s/msteams_8b031a-32/IgCHgrp9GYIORbasB-8WfWidAf7xYOPriWw3Y0zFZo2GFFw?e=HgvkMW ※UTokyo Account でログイン

【応募書類指定書式のダウンロード先】

以下の Go Global ウェブサイトよりダウンロードすること。

https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short_auw-winter.html

17. 問い合わせ先

電子メールで問い合わせる場合は、必ず件名・氏名・学籍番号・所属・学年・電話番号を明記すること。

- (1) プログラムの内容、申請や手続き、奨学金に関すること：
本部国際教育推進課国際支援チーム（go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp）
- (2) UTAS 電子申請「2. 基本情報」および「4. 家族等関係者の連絡先」記入・修正方法：
応募時の所属学部の担当部署（※）
- (3) 本学での学務関係の事項：プログラム参加時の所属学部の担当部署（※）

※各学部の担当部署一覧：

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html>

18. 参考情報

昨年度実施した「東京大学-アジア女性大学合同ウィンタープログラム（於アジア女性大学）」（2026年2月～3月）のプログラムスケジュール等および実施報告は、下記 URL から閲覧できる。

- 2025 年度ウィンタープログラム概要・スケジュール
https://univtokyo.sharepoint.com/:b:/s/msteams_8b031a-32/IQDX_Gup-sm4QZtfeLERRI7cAX8XtNB5cj7jUtTduPxSkro?e=URpAIh ※UTokyo Account でログイン
- 実施報告（グローバル教育センターウェブサイト）
https://globe.u-tokyo.ac.jp/ja/news/news_260314.html
- ドキュメンタリー作品①: “Lighting the Future: The Asian University for Women”（NHK World 公開期限未定）
<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/shows/3026052/>
- ドキュメンタリー作品②: 2023 年度ウィンタープログラムの様子
https://globe.u-tokyo.ac.jp/ja/news/news_240705.html

以上